

■崇徳天皇 75代天皇。父後鳥羽院に裏切られ、藤原頼長と保元の乱を起こし、敗れて配流され憤死、怨霊となった。

すとかてんのう

・・・・・・1119 = 鳥羽天皇の第1子として生れる。名は顕仁。母は待賢門院藤原璋子。実は鳥羽の祖父白河院が璋子に生ませた子といわれる。

・・・・・・1123 = 4歳：_白河院の意向で、父の跡を継いで即位。

藤原清衡没・1128 = 9歳：

鳥羽院政始・1129 = 10歳：*白河法皇が死去して鳥羽院政が開始されると、父子の間に対立が生じ、

・・・・・・1137 = 18歳：

・・・・・・1139 = 20歳：_父の鳥羽上皇と美福門院藤原得子との間に生れた体仁親王を皇太子とし、

崇徳天皇譲位1141 = 22歳：*やがてわが子重仁親王を次期天皇とすることで譲位、体仁親王は近衛天皇となる。

・・・・・・1146 = 27歳：

頼長内覧停止1155 = 36歳：*しかし近衛天皇が夭折すると、美福門院の画策によって後白河天皇が即位し、失意の崇徳上皇は鳥羽法皇の死後院政を執行していたものの、当時兄の関白藤原忠通と対立し主流から疎外された左大臣頼長は、後白河天皇を除こうと、不遇な崇徳上皇と結び、

保元の乱・1156 = 37歳：*鳥羽院が死去するやいなや、保元の乱を起した。武士の実力が発揮された事件として著名。乱は崇徳の敗北に終り、讃岐国に流された。ゆえに讃岐院ともいう。

平治の乱・1159 = 40歳：

・・・・・・1164 = 45歳：_配流地で怨みを抱いて、没した。
陵は白峯陵(香川県坂出市)。死後怨霊伝説を残す。